

目次

AI療法	1
BEP療法	2
5-FU+CDDP	3
CGI療法	4
CPT-11+CBDCA	5
DP+ADT+ダロルタミド	6
DP療法	7
EAP (VP16+DXR+CDDP) mitotane療法	8
EP療法	9
EV+Pembrolizumab	10
GC療法 (3週毎法)	11
GC療法	12
GEM 3投1休	13
GEM+CBDCA (尿路上皮癌)	14
GN療法 (尿路扁平上皮癌)	15
GOP	16
High dose M-VAC	17
IFN α + IL-2 (導入期)	18
IFN α + IL-2	19
M-CAVI	20
M-VAC療法	21
Nivolumab+GC療法	22

Nivolumab+GEM+CBDCA療法	23
PE療法（尿路小細胞癌）	24
PG療法	25
S1+CDDP（膀胱線癌）	26
TOG療法	27
TIN	28
TIP（陰茎癌）	29
TIP療法	30
VIP療法	31
VIP療法	32
エンホルツマブ ベドチン	34
アベルマブ+アキシチニブ	35
ジェブタナ療法	36
テムシロリムス	37
ニボルマブ	38
ニボルマブ（術後）	39
ニボルマブ+イピリムマブ併用療法	40
ニボルマブ+カボザンチニブ	41
ペムブロリズマブ	42
ペムブロリズマブ+アキシチニブ	43
ペムブロリズマブ+レンバチニブ併用療法	44

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
AI療法	軟部肉腫	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ注 デカドロン注6.6mg 生理食塩水	1V 1A 100mL	点滴	30分	day1
①'	デカドロン注6.6mg 生理食塩水	1V 100mL	点滴	30分	day2-4
②	アドリアシン 生理食塩液	30mg/m ² 100ml	点滴	30分	day1-3
③	イホマイド [®] 生理食塩液	2g/m ² 500ml	点滴	4時間	day1-3
④	ウロミテキサン 生理食塩液	400mg × 3回 100mL × 3回	点滴	30分	day1-3
1コースの期間 3～4週（21～28日）			投与スケジュール及び総コース数 3～4コース繰り返す。 アドリアシン総投与量500mg/m ² 以下 イホマイド総投与量80g/m ² 以下とする。		
その他（特記事項など） ・ウロミテキサンはイホマイド投与開始時と投与4時間後、8時間後に投与する ・イホマイドの腎障害予防のため、1日尿量が3ℓ以上となるように輸液及び利尿をはかるとともに、メイロンにより尿のアルカリ化を行う。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
BEP療法	精巣腫瘍	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ0.75mg デカドロン注1.65mg ガスター20mg 生理食塩水	1袋 2A 1A 100mL	点滴	30分	day1
①	デカドロン注1.65mg ガスター20mg 生理食塩水	2A 1A 100mL	点滴	30分	day2-5
②	エトポシド 生理食塩水	100mg/m ² 500ml	点滴	180分	day1-5
③	シスプラチン 生理食塩水	20mg/m ² 上記と計500ml	点滴	120分	day1-5
④	ブレオ 生理食塩水	30mg/body 100ml	点滴	30分	day2,9,16
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
3週(21日)			原則3～4コース		

その他(特記事項など)

Cisplatinの腎障害予防のため、1日尿量が3ℓ以上となるように輸液及び利尿をはかる。
 原則3～4コースであるが、4クール目を行う場合はブレオマイシンによる間質性肺炎のリスクが高くなるため、4クール目はブレオマイシンを除く。また本レジメンに抵抗性と考えられる場合には2コース終了時点よりsecond line therapyに移行する場合もある。
 必要に応じ、デカドロンの量を増減する

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
5-FU+CDDP	陰茎癌 (希少癌 癌腫限定)	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注 アロキシ静注 生理食塩液	9.9mg 1V 100mL	点滴 (側管2)	30分	day1
①'	デカドロン注 生理食塩液	6.6mg 100mL	点滴 (側管2)	30分	day2～3
②	ラシックス20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管2)	30分	day1
③	シスプラチン 生理食塩液	100mg/㎡ 500mL(合計)	点滴 (側管2)	2時間	day1
④	5-FU ポタコールR注	960mg/㎡ 500mL	持続点滴 (側管1)	24時間	day1～5
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 1週(5日間)投与2週休薬を1コースとしてPDまで		
その他(特記事項など) ・シスプラチン投与開始前日～投与翌日にかけて、5L程度のハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。 ・シスプラチンは投与量に相当する生食をボトルから抜いてから混合し、totalとして500mLとする。 ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。 ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CGI療法	尿道癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	パロノセトロンバッグ デキサート注	0.75mg 9.9mg	点滴	30分	day1、8、15
②	ウロミテキサン 生理食塩液	400mg/m2 50mL	点滴	全開で	day1、8、15
③	イホマイド 生理食塩液	1g/m2 250mL	点滴	60分	day1、8、15
④	ジェムザール 生理食塩液	800mg/m2 100mL	点滴	30分	day1、8、15
⑤	生理食塩液 硫酸Mg補正液 1mEq/mL KCL注キット 1mEq/mL	500mL 10mL 10mL	点滴	60分	day1、8、15
⑥	20%マンニトール	300mL	点滴	30分	day1、8、15
⑦	生理食塩液 シスプラチン	500mL 30mg/m2	点滴	1時間	day1、8、15
⑧	ソルデム3A	500mL	点滴	1時間	day1、8、15
⑨	ウロミテキサン 生理食塩液	400mg/m2 50mL	点滴	全開で	day1、8、15
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日			PDまで		

その他(特記事項など)

①day1-3は飲水1000mL(day1は点滴終了までに500mL飲水させる)。
 投与量は全身状態、PS、前コースの副作用等により適宜減量する

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CPT-11 + CBDCA	尿路小細胞癌 組織型限定	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液100mL デカドロン6.6mg アロキシ0.75mg	1V 1V 1V	点滴	30分	day1
①'	グラニセトロンバッグ デカドロン6.6mg	1V 1V			
②	生食250ml トポテシン	1V 50mg/m2			
③	生食250ml カルボプラチン	1V AUC 6	点滴	60分	day1
④	生食50ml	1V	点滴	フラッシュ用	day1、8,15
⑤					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
4週間間隔			PDまで		
その他(特記事項など)					
CBDCA(カルボプラチン)の投与量=AUC×(24時間クレアチニンクレアランス(ml/minr)+25)で計算。AUCは4～6に設定します。副作用出現時はカルボプラチン、トポテシンとも20ー40%減量することあります。 アロキシ投与時は、他の5HT3(内服を含む)制吐剤は原則として使用しない。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
DP + ADT + ダロルタミド	遠隔転移を有する前立腺癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1
	デキサート注6.6mg	1瓶			
	ポララミン注5mg	1A			
②	ドセタキセル	75mg/㎡	点滴	60分	day1
	生理食塩液250mL	1袋			
③	生理食塩液50mL	1 瓶	点滴	5分	day1
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
2 1 日			6コース		
その他（特記事項など）					
・ ADTはゾラデックス、 リュープリン、 ゴナックスなど					
・ ダロルタミドは1回600mg 1日2回					
・ プレドニン10mgを併用					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
DP療法	ホルモン抵抗性 前立腺癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デカドロン注8mg カイトリルバッグ3mg	1V 1袋	点滴	30分	day 2
②	ドセタキセル 生理食塩液	70mg/m ² 500mL	点滴	60分	day 2
③	プレドニン	10mg/body	内服		day1～21
④					
⑤					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日(3週間)			3週間を1コースとして繰り返す PDまで		

その他(特記事項など)

- ・ドセタキセルの溶解には原則添付溶解液(アルコール含有)を用いて行う。アルコール過敏症の患者については、患者登録時にその旨を記載すること。⇒ 生理食塩液溶解法を用いて作成する。
- ・副作用によりドセタキセルは60mg/m²に減量します

がん薬物療法レジメン

レジメン名			対象がん種	適応分類	
EAP(VP16+DXR+CDDP)+mitotane療法			副腎皮質がん	■ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他	
順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロン デキサート注	1袋 ※1	点滴	30分	day 1～8.9
②	生理食塩液 デキサート注	100mL 3.3mg	点滴	30分	day 2.10
③	生理食塩液 ドキシソルビシン	100mL 20mg/m ²	点滴	30分	day 1.8
④	生理食塩液 シスプラチン	総量500mL 40mg/m ²	点滴	2時間	day 1.9
⑤	生理食塩液 エトポシド	500mL 100mg/m ²	点滴	2時間	day 5.6.7
⑥	マンニトール	300mL	点滴	1時間	day 1.9
⑦	ミトタン	4.5～9g/body	内服		day 1～28
	Hydration	※2			
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日間(4週間)			28日を1コース PDまで継続		
その他(特記事項など)					
※1:デキサートは次の量をグラニセトロンに混合して投与する day1:6.6mg day5～7:なし day8～9:6.6mg					
※2:シスプラチン投与日は投与前から翌朝にかけて2L程度のハイドレーションを行う。					
・シスプラチン投与に併せてイメンドカプセルを内服する。					
・day3,11にデカドロン内服する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
EP療法	胚細胞腫瘍	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩水	500mL	点滴	120分	day1
②	生理食塩水	500mL		240分	day1-5
③	生理食塩水	500mL	点滴	240分	day1-5
④	ソルデム3A メトクロプラミド10mg	500mL 1A		240分	day1-5
⑤	ソルデム3A	500mL	点滴	240分	day1-5
⑥	アロキシ点滴静注バッグ0.75mg デキサート1.65mg ガスター注20mg	1袋 2A 1A	点滴	30分	day1
⑦	生理食塩水	100mL	点滴	30分	day2-5
側①	エトポシド 生理食塩水	100mg/m ² 500mg	点滴	180分	day1-5
側②	シスプラチン 生理食塩水	20mg/m ² 500mg	点滴	120分	day1-5
1 コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 3-4コース		

その他（特記事項など）

高齢者、喫煙歴あり、肺障害ありのいずれかを満たす場合、間質性肺炎のリスクが高くなるためブレオマイシンを除いたEP療法を投与する。必要に応じ、デキサート量を増減する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
EV+Pembrolizumab	根治切除不能な 尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg 生理食塩液50mL	1V 1瓶	点滴	15分	day1,8
②	エンホルツマブ ベドチン 生理食塩液50mL	1.25mg/kg (最大125mg) 1瓶	点滴	30分	day1,8
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	初回30分 2回目以降15分	day1
③'	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day8
④	ペムブロリズマブ 生理食塩液100mL	200mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日(3週間)			PDまで		

その他(特記事項など)

・day1について、1コース目はエンホルツマブ ベドチン投与完了30分後よりペムブロリズマブの投与を行う。
 初回投与時の忍容性が良好であった場合、2コース目から15分後よりペムブロリズマブの投与を行う。
 エンホルツマブ ベドチンの減量の目安は以下のとおりとする

- ・1段階減量 1.0mg/kg (最大100mg)
- ・2段階減量 0.75mg/kg (最大75mg)
- ・3段階減量 0.5mg/kg (最大50mg)

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
GC療法(3週毎法)	尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1.8
②	ジェムザール 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	点滴	30分	day1.8
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1.8
①	ヴィーンF デカドロン注 ガスター注	500mL 6.6mg 20mg	点滴	2時間	day2
②	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day2
③	アロキシ静注 生理食塩液	1V 100mL	点滴	30分	day2
④	シスプラチン 生理食塩液	70mg/m ² 500mL(合計)	点滴	2時間	day2
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 1週(5日間)投与2週休薬を1コースとしてPDまで		
その他(特記事項など) ・シスプラチン投与終了後もハイドレーションを行い、開始前日～投与翌日にかけて、4～5L程度のハイドレーションとする。、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。 ・シスプラチンは投与量に相当する生食をボトルから抜いてから混合し、totalとして500mLとする。 ・イメンドを併用し、支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
GC療法	尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1、8、15
②	ジェムザール 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	点滴	30分	day 1、8、15
③	シスプラチン 生理食塩液	70mg/m ² 合計500mL	点滴	2時間	day 2
④					
⑤					
1コースの期間 28日（4週間）			投与スケジュール及び総コース数 3投1休（ジェムザール）、シスプラチンはday2のみを1コースとして繰り返す。 3コース		
その他（特記事項など） 1. Day 1、2は入院で実施。 2. シスプラチン施行時はハイドレーションをしっかりと行う。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
GEM 3投1休	尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1V	点滴	30分	day1,8,15
②	ジェムザール注 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	点滴	30分	day1,8,15
③	生理食塩液	50mnL	点滴	フラッシュ	day1,8,15
④					
⑤					
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 3投1休で繰り返す PDまで		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
GEM+CBDCA(尿路上皮癌)	尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☒ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg (デカドロン注6.6mg)	1袋 1V	点滴	30分	day1,2,8,15 (day2のみ)※
②	ジェムザール 生理食塩液	1000mg／m ² 100mL	点滴	30分	day1,8,15
③	カルボプラチン 生理食塩液	AUC＝5 250mL	点滴	60分	day2
④	生理食塩液	50mL	点滴	全開 フラッシュ	day1,2,8,15
⑤					
1コースの期間 4週間(28日)			投与スケジュール及び総コース数 標準治療として3コース実施。効果判定後、維持療法としてPDまで継続の場合あり		
その他(特記事項など) ・CBDCA投与量＝AUC×(24hrCCr(mL/min)+25)で計算 ・day2のみデカドロン投与 ・イメンドを投与する					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
GN療法(尿路扁平上皮癌)	尿路上皮癌 (扁平上皮癌) 組織型限定	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mg デカドロン注6.6mg 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴	30分	day1
①、	グラニセトロンバッグ	1袋	点滴	30分	day8
②	ジェムザール 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	点滴	30分	day1、8
③、	生理食塩液	50mL	点滴	全開 フラッシュ	day8
③	アクプラ 生理食塩液	80mg/m ² 500mL	点滴	120分	day1
④	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day1
⑤	ソルデム3A	500mL	点滴	120分	day1
1コースの期間 21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 3週間を1コースとして繰り返す。 3コース施行		

その他(特記事項など)

- ・遅発性嘔吐対策として、必要に応じ、day 2～3にかけて4～8mg/day程度のデカドロン内服を行う。
- ・腎障害軽減のため、飲水指導を行うこと。
- ・本レジメンの施行は、扁平上皮癌に限る。

がん薬物療法レジメン

プロトコール名	対象がん種	適応分類
GOP	精巣腫瘍	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ファモチジン20mg ポララミン5mg 生理食塩水50mL	3A 1A 1A 1瓶	点滴	30分	day1、8
②	パロノセトロン0.75mgバッグ	1袋	点滴	30分	day1、8
③	ゲムシタビン塩酸塩 5%ブドウ糖液250mL	800mg/m ² 1瓶	点滴	30分	day1、8
④	パクリタキセル注100mg 生理食塩液250mL	80mg/m ² 1瓶	点滴	60分	day1、8
⑤	オキサリプラチン注100mg 5%ブドウ糖液250mL	130mg/m ² 1瓶	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1、8
1コースの期間 21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで 文献上は最大7サイクルまでであるが、後治療がないため上限は設けない		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
High dose M-VAC	尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☒ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ	1袋	点滴	30分	day1
②	メソトレキセート 生理食塩液	30mg/m2 100mL	点滴	30分	day1
③	アロキシバッグ デキサート	1袋 6. 6mg	点滴	30分	day2
④	ビンブラスチン 生理食塩液	3mg/m2 100mL	点滴	30分	day2
⑤	ドキソルビシン 生理食塩液	30mg/m2 100mL	点滴	30分	day2
⑥	シスプラチン 生理食塩液	70mg/m2 500mL	点滴	120分	day2
1 コースの期間 14日間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで 術前は4コースまで		
その他（特記事項など） ・ シスプラチン投与前後にハイドレーションを行う。 ・ シスプラチンは投与量に相当する生食をボトルから抜いてから混合し、全量500mLとする。 ・ イメンドを併用し、支持療法は患者の状態や副作用の発状況に応じ適宜、変更や増減を行う。 ・ day3にジースタの投与を行う。（原法はday3-7 G-CFS連日投与）					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
IFN α + IL-2 (導入期)	腎がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	イムネース注35 生理食塩液	70万単位/body 100mL	点滴	30分	day 1～5,8～12, 15～19,22～26
②	スミフェロン (又はオーアイエフ)	300万単位/body (500万単位/body)	皮下注	30分	day 1,3,5,8,10,12,15,17,19,22, 24,26
③					
④					
⑤					
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 原則 1コース施行 PDでなければ、以後は維持療法として IFN α +IL-2療法に移行する。		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
IFN α + IL-2	腎がん	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	イムネース注35 生理食塩液	70万単位/body 100mL	点滴	30分	day 1～5,8～12, 15～19,22～26
②	スミフェロン (又はオーアイエフ)	300万単位/body (500万単位/body)	皮下注	30分	day 1,3,5,8,10,12,15,17,19,22, 24,26
③					
④					
⑤					
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 4週間を1コースとして繰り返す PDまで		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
M-CAVI	尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロン3mg	1V	点滴	30分	day 1.15.22
②	アロキシ注0.75mg	1V	点滴	30分	day 2
	デカドロン注6.6mg 生理食塩液	1V 100mL			
③	メソトレキセート 生理食塩液	30mg/㎡ 100mL	点滴	30分	day 1.15.22
④	カルボプラチン 生理食塩液	AUC=5 250mL	点滴	60分	day 2
⑤	エクザール 生理食塩液	3mg/㎡ 50mL	点滴	30分	day 2.15.22
⑥	生理食塩液	50mL	点滴	全開 フラッシュ	day 1.2.15.22
1コースの期間 28日（4週間）			投与スケジュール及び総コース数 3コース施行		
その他（特記事項など） ・腎機能低下症例でGC無効例に使用					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
M-VAC療法	尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☒ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロン3mg	1袋	点滴	30分	day 1, 15, 22
①‘	アロキシ デカドロン 生理食塩液	1V 6.6mg 100mL	点滴	30分	day 2
②	メソトレキセート 生理食塩液	30mg/m ² 100mL	点滴	30分	day 1, 15, 22
③	エクザール 生理食塩液	3mg/m ² 100mL	点滴	30分	day 2, 15, 22
④	ドキシソルビシン 生理食塩液	30mg/m ² 100mL	点滴	30分	day 2
⑤	マンニトール	300mL	点滴	60分	day 2
⑥	シスプラチン 生理食塩液	70mg/m ² 合計500mL	点滴	3時間	day 2
1コースの期間 28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 標準療法として3コースを基本とする。		
その他(特記事項など) ・day1, 2は入院で実施					

がん薬物療法レジメン

プロトコール名	対象がん種	適応分類
Nivolumab + GC療法	化学療法未治療の根治切除不能又は転移性の尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	ルート確保		day1
②	ニボルマブ 生理食塩液	360mg 100mL(合計)	点滴	30分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day1
⑤	パロノセトロン0.75mg デキサート	1袋 9.9mg	点滴	30分	day1
⑥	ゲムシタビン 5%ブドウ糖液	1000mg/m2 250mL	点滴	30分	day1
⑦	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
⑧	20%マンニトール	300mL	点滴	1時間	day1
⑨	シスプラチン 生理食塩液	70mg/m2 500mL(合計)	点滴	2時間	day1
⑩	ソリューゲンF	500mL	点滴	2時間	day1
⑪	ソルデム3A	500mL	点滴	2時間	day1
⑫	ソリューゲンF	500mL	点滴	2時間	day1
⑬	ソルデム3A	500mL	点滴	6時間	day1
⑭	ソリューゲンF	500mL	点滴	6時間	day2
⑮	生理食塩液 デキサート	50mL 6.6mg	点滴 側管から	30分	day2
⑫	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day8
⑬	ゲムシタビン 5%ブドウ糖液	1000mg/m2 250mL	点滴	30分	day8
⑭	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day8
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日(3週間)			6コースまで行い、ニボルマブ療法(480mg、4週間間隔)へ移行 PDもしくは24ヶ月経過まで		
その他(特記事項など)					
・インラインフィルター(0.2～1.2μm)を使用して投与する。 ・シスプラチン投与後もハイドレーションを行い、開始前～投与翌日にかけて4-5L程度輸液負荷する。 ・アプレピタントを併用する。(day1 125mg day2,3 80mg)、day3,4にデカドロン8mgを内服する。 ・シスプラチンのみを中止した症例は残りのサイクルをゲムシタビン＋カルボプラチンに切り替え可とする。					

がん薬物療法レジメン

プロトコール名	対象がん種	適応分類
Nivolumab + GEM + CBDCA療法	化学療法未治療の根治切除不能又は転移性の尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	ルート確保		day1
②	ニボルマブ 生理食塩液	360mg 100mL(合計)	点滴	30分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン0.75mg デキサート注	1袋 6.6mg	点滴	30分	day1
⑤	ゲムシタビン 5%ブドウ糖液	1000mg/m2 250mL	点滴	30分	day1
⑥	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
⑦	カルボプラチン 生理食塩液	AUC=4.5 or 5 250mL(合計)	点滴	60分	day1
⑧	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
⑨	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day8
⑩	ゲムシタビン 5%ブドウ糖液	1000mg/m2 250mL	点滴	30分	day8
⑪	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day8
1コースの期間 21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 Niv+GCと併せて6コースまで行い、ニボルマブ療法(480mg、4週間間隔)へ移行 PDもしくは24か月経過するまで		
その他(特記事項など) ・インラインフィルター(0.2～1.2μm)を使用して投与する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
PE療法(尿路小細胞癌)	尿路小細胞癌 (膀胱、腎盂尿管) 組織型限定	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液 500ml	1V	点滴	2時間	day1
②	生理食塩液 500ml	1V	点滴	2時間	day1,2,3
③	ソルデム3A 500ml プリンペラン	1V 1A	点滴	2時間	day1,2,3
④	ソルデム3A 500ml	1V	点滴	2時間	day1
側①	生理食塩液 100mL アロキシ注0.75mg デカドロン6.6mg ガスター20mg	1V 1V 1V 1A	点滴 (側管)	30分	day1
側①	生理食塩液 100mL デカドロン6.6mg ガスター20mg	1V 1V 1A	点滴 (側管)	30分	day1,2,3
側②	生食500ml ラステット	1V 100mg/m2	点滴 (側管)	2時間	day1,2,3
側③	生食500ml ランダ	1V 80mg/m2	点滴 (側管)	2時間	day1
側④	マンニトール300mL	1V	点滴 (側管)	1時間	day1
1コースの期間 3週間(21日間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) ランダは投与量の分だけ生食を廃棄して全量500ml【ランダ(ml)＋生食(ml)＝500ml】になるようにして使用。側①は②と同時に開始。Day1は点滴開始時～側④終了時の蓄尿量が1500ml以下のときラシックス10mg静注。 イメンドを併用する アロキシ投与時は、他の5HT3(内服を含む)制吐剤は原則使用しない。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
PG療法	尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
②	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポララミン注5mg 生理食塩液	3V 1A 1A 50mL	点滴	ルート確保 全開で	day1
③	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1、8、15
④	パクリタキセル 生理食塩液	200mg/m ² 500mL	点滴	3時間	day 1
④	ジェムザール 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	点滴	30分	day 1、8、15
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1、8、15
1コースの期間 28日（4週間）			投与スケジュール及び総コース数 パクリタキセル1投3休、ジェムザールは3投1休の4週間を1コースとして繰り返す。 標準6コースまで。必要時PDまで継続。		
その他（特記事項など） 2nd line以降もしくはプラチナ不応例、プラチナ不適例に限る。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
S1 + CDDP (膀胱腺癌)	膀胱腺癌 組織型限定	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg デカドロン注1.65mg アロキシ静注 生理食塩液	1V 2A 1V 100mL	点滴 (側管)	30分	day8
①	デカドロン注6.6mg 生理食塩液	1V 100mL	点滴 (側管)	30分	day9～10
②	ラシックス注20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管)	30分	day8
③	ランダ注 生理食塩液	60mg/m ² 合計500mL	点滴 (側管)	2時間	day8
	TS-1	80mg/m ²	経口		day1～21
1コースの期間 35日間(5週間)			投与スケジュール及び総コース数 ランダはday8のみ、TS-1はday1から21日 連続服用後14日間休薬を1コース PDまで		

その他(特記事項など)

- ・基本的にはTS-1は以下の投与量(1日量として)で開始する。
体表面積 1.25未満 : 80mg 、 1.25以上1.50未満 : 100mg 、 1.50以上 : 120mg
- ・ランダ投与開始前日～投与翌日にかけて、5～6000mLのハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。
- ・ランダは投与量に相当する生食をボトルから抜き、totalとして500mLになるように調製する。
- ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。
- ・制吐剤はイメンドを併用する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
TCG療法	尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注9.9mg ガスター注20mg ポララミン注5mg アロキシバッグ0.75mg	1V 1A 1A 1袋	点滴	ルート確保 全開で	day1、8
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1、8
③	パクリタキセル 生理食塩液	80mg／m ² 250mL	点滴	60分	day1、8
④	ジェムザール 生理食塩液	1000mg／m ² 100mL	点滴	30分	day 1、8
⑤	(シスプラチン)	(70mg／m ²)	点滴		day1
1コースの期間 21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 シスプラチンは1投2休。パクリタキセル、ジェムザールは2投1休の3週間を1コースとして繰り返す。 3コース		
その他(特記事項など) day 1は入院で実施					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
TIN	精巣腫瘍	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ファモチジン注20mg ポララミン注5mg 生理食塩液50mL	3瓶 1A 1A 1瓶	点滴	全開	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1
③	パクリタキセル 生理食塩液500mL	210mg/m ² 1袋	点滴	3時間	day1
④	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑤	グラニセトロンバッグ3mg デキサート注1.65mg	1袋 2A	点滴	30分	day2-6
⑥	イホスファミド 生理食塩液250mL	1.2g/m ² 1袋	点滴	2時間	day2-6
⑦	ネダプラチン 生理食塩液500mL	100mg/m ² 1袋	点滴	2時間	day2
⑧	ソルデム3A 500mL メイロン 20mL	1袋 1管	点滴	2時間	day2-6
⑨	ソルデム3A 500mL メイロン 20mL	1袋 1管	点滴	2時間	day2-6
⑩	ソルデム3A 500mL	1袋	点滴	2時間	day2-6
⑪	ソルデム3A 500mL	1袋	点滴	2時間	day2-6
側①	ウロミテキサン 400mg 生理食塩液50mL	1A 1瓶	点滴	30分	day2-6
側②	ウロミテキサン 400mg 生理食塩液50mL	1A 1瓶	点滴	30分	day2-6
側③	ウロミテキサン 400mg 生理食塩液50mL	1A 1瓶	点滴	30分	day2-6
1コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 3コースを目途に		
その他(特記事項など) ウロミテキサンは4時間ごとに側管から投与					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
T I P (陰茎癌)	陰茎癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☒ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液 デキサート注6.6mg ポララミン注5mg ガスター	50mL 3V 1A 20mg	点滴	全開で	Day1
②	グラニセトロンバッグ	3mg	点滴	30分	Day1
③	生理食塩液 パクリタキセル	500mL 175mg/m ²	点滴	3時間	Day1
④	グラニセトロンバッグ デキサート	3mg 3.3mg	点滴	30分	Day2-3
⑤	生理食塩液 イホマイド	500mL 1200mg/m ²	点滴	2時間	Day1-3
⑥	生理食塩液 シスプラチン	500mL（全量） 25mg/m ²	点滴	2時間	Day1-3
⑦	ソルデム3A メイロン7%	500mL 20mL	点滴	1時間	Day1-3
⑧	ソルデム3A メイロン7%	500mL 20mL	点滴	1時間	Day1-3
⑨	ソルデム3A	500mL	点滴	1時間	Day1-3
⑩	生理食塩液 ウロミテキサン	100mL 400mg	点滴	30分	Day1-3
⑪	生理食塩液 ウロミテキサン	100mL 400mg	点滴	30分	Day1-3
⑪	生理食塩液 ウロミテキサン	100mL 400mg	点滴	30分	Day1-3
1コースの期間 4週間（28日間）			投与スケジュール及び総コース数 術前 4コース 進行・再発癌はPDまで		
その他（特記事項など） ・ウロミテキサンは、イホマイド投与開始と同時、4時間後、8時間後に投与する。 ・CDDPIは、生食+CDDPが全量500mLになるように調製					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
TIP療法	難治性精巣腫瘍	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注 ガスター注 ポララミン注5mg アロキシバッグ0.75mg	16.5mg 20mg 1A 1袋	点滴	ルート確保 全開	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1
③	パクリタキセル 生理食塩水	175ml/m2 1000ml	点滴	24時間	day1
④	イホマイド 生理食塩水	1.2g/m2 100ml	点滴	60分	day2-6
⑤	シスプラチン 生理食塩水	20mg/m2 上記と計500ml	点滴	120分	day2-6
⑥	ウロミテキサン	400mg/body	点滴		day2-6
1コースの期間 3週(21日)			投与スケジュール及び総コース数		

その他(特記事項など)

パクリタキセルは生食1000mlに溶解し24Hrで投与する(PVC freeのルート使用、ルート内の析出を防ぐため輸液ポンプは使用せず自然滴下で)。
 初回問題なければ2回目以降の投与時はデキサートン6.6mgに減薬する(ポララミン、ガスター、ステロイドの前処置要)。イホマイドによる出血性膀胱炎を予防する為、1日尿量が3ℓ以上となるように輸液及び利尿をはかる。更に出血性膀胱炎に対しては輸液1ℓ当たり40mlの7%メイロンを混和する事により尿アルカリ化をはかった上で、mesna(ウロミテキサン)をイホマイド投与直後、4時間後、8時間後に各400mg/bodyを側管より注入する。抗癌剤投与中は尿量、尿pHを適宜チェックし、胸部症状にも十分な注意をはかる。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
VIP療法	精巣腫瘍	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ デキサート1.65mg ガスター20mg	1袋 2A 1A	点滴	30分	day1
①	デキサート1.65mg ガスター20mg 生理食塩液	2A 1A 100mL	点滴	30分	day2-5
②	エトポシド 生理食塩液	75mg/m ² 500ml	点滴	120分	day1-5
③	シスプラチン 生理食塩液	20mg/m ² 上記と計500ml	点滴	120分	day1-5
④	イホマイド 生理食塩液	1200mg/m ² 500ml	点滴	120分	day1-5
	ウロミテキサン 生理食塩液	240mg/m ² 100ml	点滴	30分	day1-5 IFM投与時、4時間後、 8時間後
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
3週（21日）			原則4コース		

その他（特記事項など）

Cisplatinの腎障害予防のため、1日尿量が3ℓ以上となるように輸液及び利尿をはかる。
必要に応じ、デカドロン量を増減する

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
VIP療法	精巣腫瘍	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ デキサート1.65mg ガスター20mg	1袋 2A 1A	点滴	30分	day1
①	デキサート1.65mg ガスター20mg 生理食塩液	2A 1A 100mL	点滴	30分	day2-5
②	エトポシド 生理食塩液	100mg/m ² 500ml	点滴	120分	day1-5
③	シスプラチン 生理食塩液	20mg/m ² 上記と計500ml	点滴	120分	day1-5
④	イホマイド 生理食塩液	1200mg/m ² 500ml	点滴	30分	day1-5
1コースの期間 3週(21日)			投与スケジュール及び総コース数 原則4コース		

その他(特記事項など)

Cisplatinの腎障害予防のため、1日尿量が3ℓ以上となるように輸液及び利尿をはかる。
必要に応じ、デカドロン量を増減する

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
アベルマブ（維持療法）	根治切除不能な尿路上皮癌における化学療法後の維持療法	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL ポララミン注5mg	1瓶 1A	点滴	30分	day1
②	アベルマブ 生理食塩液250mL	10mg/kg 1袋	点滴	60分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④					
⑤					
⑥					
⑦					
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日			PDまで		

その他（特記事項など）

- ・原則プラチナ製剤を含む一次治療にて疾患の進行を認めていない患者
- ・点滴前にカロナール500mgを内服
- ・インラインフィルター使用 全量250mLになるよう調製

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
エンホルツマブ ベドチン	がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg 生理食塩液50mL	1V 1瓶	点滴	15分	day1,8,15
②	エンホルツマブ ベドチン 生理食塩液50mL	1.25mg/kg 1瓶	点滴	30分	day1,8,15
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1,8,15
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日			PDまで		
その他(特記事項など)					
減量の目安					
・通常投与量 1.25mg/kg (最大125mg)					
・1段階減量 1.0mg/kg (最大100mg)					
・2段階減量 0.75mg/kg (最大75mg)					
・3段階減量 0.5mg/kg (最大50mg)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ペムブロリズマブ＋アキシチニブ	根治切除不能または転移性の腎細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液 ペムブロリズマブ	100mL 200mg	点滴	30分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
	アキシチニブ	10mg (20mgまで増量可)	内服	1日2回	day1-14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
2週間			PDまで		
その他(特記事項など)					
・0.2～5μmのポリスルホン製又はポリエーテルスルホン製のin-lineフィルターを用いること。					
・点滴前にカロナール内服					
・					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ジェブタナ療法	前立腺癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ポララミン注 ガスター注 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開	Day1
②	グラニセトロンパ ック 3mg	1袋	点滴	30分	Day1
③	ジェブタナ 生理食塩液	25mg/m2 250mL	点滴	60分	Day1
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	Day1
	プレドニゾロン錠	10mg	経口		Day1-21
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		
その他（特記事項など） ・0.2μmのインラインフィルターを使用する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
テムシロリムス	腎細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	ポララミン注5mg 生理食塩液	1A 50mL	点滴	全開	day1
②	テムシロリムス 生理食塩液	25mg/body 250mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day1
④					
⑤					
1コースの期間 7日（1週間）			投与スケジュール及び総コース数 weeklyで PDまで		
その他（特記事項など） ・PVCフリー及び孔径5 μ m以下のインラインフィルター付きのルートを使用すること。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ニボルマブ	腎細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	オプジーボ 生理食塩液	240mg/body 100mL	点滴	30分	day1
②	生理食塩液（フラッシュ）	50mL	点滴	15分	day1
1コースの期間 14日（2週間）			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		
その他（特記事項など） インラインフィルター（0.2または0.22 μ m）を使用して投与する。 infusion reactionを認めた場合は、次サイクルより前投薬の追加を考慮する。 4週間間隔で投与する場合は、480mg/bodyとする。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ニボルマブ（術後）	尿路上皮癌	☐ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	オブジーボ 生理食塩液100mL	240mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
②	生理食塩液50mL	1瓶	フラッシュ	5分	day1
③					
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間 14日もしくは28日			投与スケジュール及び総コース数 術後1年間		
その他(特記事項など) ・0.2～0.22 μ mのポリスルホン製又はポリエーテルスルホン製のインラインフィルターを用いる ・2週間毎の場合は240mg、4週間毎の場合は480mgを投与する					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ニボルマブ・イピリムマブ併用療法 →ニボルマブ維持療法	化学療法未治療の根治切除不能又は転移性の腎細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液 ポララミン	50ml 1A	点滴	15分	day 1
①	オプジーボ 生理食塩液	240mg/body 100ml	点滴	30分	day 1
②	生理食塩液	50ml	点滴	30分	day 1
③	ヤーボイ 生理食塩液	1mg/kg 50ml	点滴	30分	day 1
④	生理食塩液	50ml	点滴	フラッシュ	day 1
1コースの期間 21日間			投与スケジュール及び総コース数 1投2休を1コースとし、計4コース施行する 4コース施行後、3週間間隔あけ、ニボルマブ維持療法(240mg、2週間間隔)へ移行する。		
その他(特記事項など) メンブランフィルターを用いたインラインフィルター(0.2または0.22 μ m)を使用して投与する。 inufusion reactionを認めた場合は、次サイクルより前投薬の追加を考慮する。 ニボルマブ維持療法において、4週間間隔で投与する場合は、480mg/bodyとする。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ニボルマブ＋カボザンチニブ	根治切除不能または転移性の腎細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ニボルマブ 生理食塩液100mL	240mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
②	生理食塩液50mL	1瓶	フラッシュ	5分	day1
③	カボザンチニブ	40mg/day	内服		連日
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日間			PDまで		
その他(特記事項など) ・480mgは4週間毎で投与 ・インラインフィルター使用					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ペムブロリズマブ	尿路上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	ペムブロリズマブ 生理食塩液	200mg 100mL	点滴	30分	day1
②	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間 3週間間隔(21日)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) ・0.2～5μmのポリスルホン製又はポリエーテルスルホン製のin-lineフィルターを用いること。 ・6週間間隔で投与する場合は、400mg/bodyとする。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ペムブロリズマブ＋アキシチニブ	根治切除不能または転移性の腎細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液 ペムブロリズマブ	100mL 200mg/body	点滴	30分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
	アキシチニブ	10mg (20mgまで増量可)	内服	1日2回	day1-21
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
3週間			PDまで		
その他(特記事項など)					
・0.2～5μmのポリスルホン製又はポリエーテルスルホン製のin-lineフィルターを用いること。 ・6週間間隔で投与する場合は、400mg/bodyとする。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ペムブロリズマブ+レンバチニブ併用療法	根治切除不能又は転移性の腎細胞癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	キイトルーダ 生理食塩液100mL	200mg/body (400mg/body) 1瓶	点滴	30分	day1
②	生理食塩液50mL	1瓶	フラッシュ	5分	day1
③	レンビマカプセル	20mg/日			連日投与
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日（200mg） 42日（400mg）			PDまで		
その他（特記事項など）					
・0.2～5μmのポリスルホン製又はポリエーテルスルホン製のインラインフィルターを用いる					
・6週間隔で投与する場合は400mg/bodyとする					